

「声の広報」届け続けて20年

朗読ボランティア「はすの実」に市長感謝状



収録前に読み方を確認するメンバーたち（中央が伊藤和江代表）

市の広報紙や議会だよりなどを読み上げてテープに録音し、視覚に障害のある人たちに「声の広報」を届け続けてきた朗読ボランティアグループ「はすの実」(伊藤和江代表)。市では11月11日に市長感謝状を贈り、20年間にわたる同グループの活動に謝意を表しました。

「はすの実」の活動の様子を、今月号では紹介します。

プです。

朗読ボランティアグループ「はすの実」

「はすの実」は、旧八日市場市社会福祉協議会が主催した朗読ボランティア講座を受講したメンバーが集まり、昭和63年7月に結成したグループ

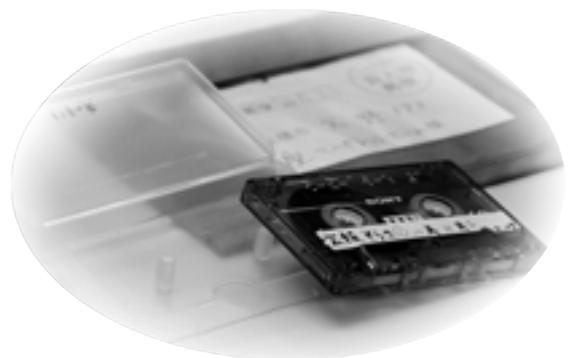


江波戸市長（前列中央）を囲んで

主婦を中心とした13人の女性で構成され、20年間にわたり、広報紙や議会だよりなどを朗読・録音して視覚障害者へ提供する朗読ボランティアを行ってきました。

今年の11月末現在で、毎月1回発行の広報紙245号、年4回発行の議会だより81号の計326号分の声の広報を制作しました。

グループ名である「はすの実」の由来は、レンコンが旧八日市場市の特産品であることと、その小さな実が、甘納豆などの食用になることから、小さくても社会に役立つ実でありたいとの願いを込めて付けたそうです。



まず読み方の確認

月末の午前9時。広報紙の収録のため「はすの実」のメンバーが市民ふれあいセンターに集まりました。収録の前には、今日読む広報の読み方の確認を行います。

市の広報班から提供された、最終校正が終わった段階の広報紙(ゲラ)を見て、それぞれが3日ほど前から読む練習を積んできました。

「ここはどう読めば分かりやすいかな?」「この人の名前、なんて読むのかしら?」

和気あいあいとした雰囲気の中、お互いに読み方を確認します。

利用者の声



山崎静子さん

言い出したのは
私なんです

小さな頃から弱視です。最初に「声の広報」があったらいいな、と言い出したのは私なんです。全然見えない方もいますからね。「声の広報」は毎月利用していて、生活する上で大変助かっています。



真剣な表情で収録を行う

マスターテープへ録音

午前10時。2階の視聴覚室に3人が入室し、録音が始まりました。1人が朗読、1人が録音、そしてもう1人が朗読内容に間違いがないかチェックを行います。

各ページの朗読は2ページごとに交代で行い、広報紙（全20ページ）を7人ほどで朗読します。

用意するテープは60分カセットテープ2本で、1時間半から2時間のマスターテープを作ります。

表や写真、イラストなど、そのまま読んでも意味の分りにくいものは、聞いている人が分かりやすいよう工夫して読んでいます。

また、読み手が変わっても読む速さや声の高さが変わらないように気を付けています。朗読と録音は昼過ぎまでかかり、その間、交代で昼食を取ります。



山崎正さん、照子さんご夫妻

「声の広報」
ありがとうございます

「声の広報」は夫婦で長年利用させてもらっています。毎月ちゃんと届けてくれるのでありがたいです。以前は来るのが遅かったのですが、今は1日に届きますから本当に便利になりました。



ダビングの様子

ダビングと郵送

録音機械は市社会福祉協議会から借りています。以前はマスターテープを1本作ったから、1本ずつしかダビングができなかったのですが、今は倍速でテープ3本を同時にダ

ビングできるようになり、作業は格段に速くなりました。視覚障害者への郵送は、郵送料が無料になる専用袋が、市社会福祉協議会から提供されており、カセットテープ2本が入ります。聞き終わったテープは専用袋に入れて返却してもらい、返ってきたテープの内容を消去して、最低でも10回以上は再利用しているそうです。

活動の取り組み新たに

メンバーの皆さんにお話を伺いました。

「利用者の方から『いつもありがとうございます』『毎号楽しみになっています』など、喜びの声を聞く時が一番うれしいです。また、今は会員が13人しかいないので、本を読むのが好きな人で、ボランティア精神にあふれる人がもつと仲間になってほしいと思います。

私たちは広報紙に限らず、音声のできるものすべてを障害者の皆さんにお届けしたいという気持ちで活動に取り組んでいます。例えば、ごみの出し方のポスターなど、日々の生活を送る中で必要な情報にできる限りすべて音声にし



テープは専用袋で送られる

また、テープ代などの消耗品は社会福祉協議会から支出されていますが、お茶などは年700円の会費でまかなっているそうです。

ています。

これからも社会福祉協議会や市の協力を得て、視覚障害者支援のために活動を続けて行きたいと考えています。」



支援の輪さらに大きく

朗読ボランティアへのお問い合わせ先：社会福祉協議会
☎73・0759